



江井ヶ島野鳥の会
<http://eigashima.ptu.jp/>

特集:ガンカモ調査2009から

表-1	血池 (福里)	諸池 (八木)	血池 (江井ヶ島)	谷池 (江井ヶ島)	血池 (西島)	大池 (西島)	種合計
オシドリ							0
マガモ	4				5	1	10
カルガモ			41			4	45
コガモ			19		2	21	42
ヨシガモ							0
オカヨシガモ			8	1		1	10
ヒドリガモ	2	53	446	55		7	563
オナガガモ		8	107	3		271	389
ハシビロガモ	3		21			1	25
ホシハジロ	6			153			159
キンクロハジロ				93			93
スズガモ				1			1
クロガモ							0
トモエガモ							0
ビロードキンクロ							0
シノリガモ							0
コオリガモ							0
ホオジロガモ							0
ウミアイサ							0
カワアイサ							0
ミコアイサ				15			15
ツクシガモ							0
アメリカヒドリ							0
カルガモ×交雑種							0
調査箇所合計	15	61	642	321	7	306	1,352

環境省は毎年1月、全国一斉に「ガン・カモ・ハクチョウ類生息調査(略称:ガンカモ調査)」を実施して日本に飛来するガン、カモ、ハクチョウ類のカウントをしています。

江井ヶ島地区は「江井ヶ島野鳥の会」が毎年カウントしており、今年(2009年)は1月11日(日)に実施しましたので、その調査結果をお知らせします。

左の「表-1」がその結果です。調査地点に八木と福里が入っていますが、それは「江井ヶ島野鳥の会」の割り当て区域ですので、そのまま掲載しています。

今年の調査で確認されたカモの種類は11種、総数は1,352羽でした。

「グラフ-1」は、過去10年間のカモの総数(青色)とそのうち谷池に飛来した数(黄色)を現したものです。このグラフから江井ヶ島のカモは谷池に多く飛来している事が判ります。事実、過去9年間は常に谷池が最も多くカウントされてきました。

ただ今年(2009年)は、そのNo.1の座を江井ヶ島の血池に奪われてしまいました。「グラフ-2」は、過去10年間の谷池(黄色)と血池(赤色)のカウント数を現したものです。このグラフから過去9年間は2001年を除くと圧倒的に谷池の方に多く飛来していた事が判ります。

今年、逆転した理由は不明です。

血池は、ここ数年間冬場は工事のために水を抜いておりカモの飛来できる環境では無かったのですが、今年(2009年)は工事も一段落して、水深は浅いものの、ある程度の水面が確保されています。そこに、潜れないカモのヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモが隣の谷池から移ったのではないのでしょうか。そのため、谷池の方は過去最少のカウント数になっています。ただし、潜って採餌するカモのホシハジロやミコアイサは水深のある谷池に残ったままです。

「グラフ-3」はどんな種類のカモが多く飛来するのかを現したものです。このグラフから、毎年一番多く飛来するカモはヒドリガモ(赤色)であることが判ります。

次に多いのがホシハジロ(黄色)とオナガガモ(緑色)で、この3種類のカモだけで毎年全体の7~8割を占めています。

